

## 第9学年

---



### 学びの 카테고리 「生きる」

---

これまで実社会・実生活の中から様々な問題を見だし、解決するために探究してきた。第9学年では、学んできた知識や経験を生かし、自分は今後どう生きていきたいのかを考え、自身の将来を見据えていく。そのため、9年間のどう生きる科の出口の姿として「生きる」をカテゴリとして設定した。その中で、自分に必要なものや磨くべきことを模索し、判断し、行動する姿を具現させていく。

平尾 龍平  
河合 美保  
高橋 亮

第9学年2組 年間指導計画 「学びの 카테고리」： 生きる (全105時間)

第9学年の目標	(1) 問題解決力に関わって 導き出した考えや提示された考えについて、多面的多角的に吟味していくなかで、自己の生き方を見つめ、よりよい生き方について探究していくことができるようにする。 (2) 関係構築力に関わって 仲間や実社会に生きる人の考えを共感的に受け入れ、それぞれの願いや考えを踏まえた上で、相手と協働して納得解や最適解を導こうとすることができるようにする。 (3) 貢献する人間性に関わって 社会の様々な事柄や他者の生き方について関心を持ち、生き方に触れる過程で、よりよい自己の生き方を見つめようとする態度を養う。											
カテゴリ設定の理由	これまで実社会・実生活の中から様々な問題を見だし、解決するために探究してきた。第9学年では、学んできた知識や経験を生かし、自分はいかにどう生きていきたいのかを考え、自身の将来を見据えていく。そのため、9年間のどう生きる科の出口の姿として「生きる」をカテゴリとして設定した。その中で、自分に必要なものや磨くべきことを模索し、判断し、行動する姿を具現させていく。											
学びの基盤となる道徳的諸価値	○個性の伸長 ・自律 ・感謝 ・相互理解 ・寛容 ・社会参画 ・勤労 ・よりよく生きる喜び											
学びを構成する要素	価値観 夢 進路計画 幸せ 自由 大人 個性 貢献 共生 社会参画 生かす											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名(時数)	「価値観から学ぶ」(57時間)				自主 分 体 的 の 憧 れ 情 報 を 収 集 の す き 方	「生と死」(21時間)	「わたしの生き方」(12時間)	自分の進む路(15時間)				
主な学習活動	○7年生「働く」、8年生「幸せに生きる」の振り返りから9年生の学びへつなぐ。 ○生きる上で大切な価値観を考える。 ○身の周り人(年代、職業、性別)に価値観を聞いてみよう。		○山口さんの生き方から学ぶ。(対話型) ○中村さんの生き方から学ぶ。(対話型) ○自分への挑戦(計画・実践・評価・振り返り) ・自分が大切に思う価値観に挑戦することで、これまでと違う見方、考え方に触れる。			○広島被爆援護会の方との対話を通して、戦時中、終戦後生き抜いてきた人々の生き方から学ぶ。 ○自分の生き方に対する考え方と比較しながら、学んだことを整理する。	○探究を通して学んだこと、経験したことを振り返り、「自分はこうやって生きていく」という決意をまとめる。 ○8年生や今まで出会った講師の方、保護者などに決意を語る。	○進路説明会や二者懇談、三者懇談を通して、自分を見つめ直し、自分の進路決定をする。				
想定されるエラー(■) ジレンマ(●) 【道徳的諸価値】	●普段から仲がよい仲間でも、価値観が全く違う。 ■「生きる」を考えたとき、自分のことばかりが中心に考えていた。視野が狭かった。経験が足りない。 【向上心、個性の伸長・相互理解、寛容など】		●相手が大人の人であっても、どうしても納得がいかないことが見つかる。 ●自分の考えを行動に移すということは、想像以上に難しいという現実を知る。【自律、勤労・社会参画など】			●大変な思いをして生きてこられた方々に対して、これから生きる自分たちが返せるものとは何かと自問する。 【郷土を愛する態度、感謝など】	●自己を見つめる活動を通して、自分の理想とする生き方と、今の自分の特性の違いに悩む。 【向上心、個性の伸長など】	●周囲の期待や願いと自分の希望の違いに悩む。 【よりよく生きる喜びなど】				
人材活用施設	・自分の身の周りの人(家族、親戚、習い事の先生、近所の人 など)		・岐阜薬科大学 山口 英司 氏 ・(株)スズキ アスリート 中村 明彦 氏			・広島被爆援護会の方々	・8年生	・教師 ・保護者や家族				
教科等との関連	・英語：Sports for Everyone		・理科：ヒトのからだのつくりとはたらき ・社会：少子高齢化社会 ・技術：プログラミング			・英語：Mother's lullaby The Story of Sadako ・国語：挨拶ー原爆の写真によせて	・美術：アイデアスケッチ ・国語：説得力のある構成を考えよう					

単元名	本単元の目標		
	問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
わたしの生き方  (12)	自分の生き方を語る活動を通して、これまでに得た知識、経験、人との出会いや仲間からの助言を通して、これから自分がどう生きていきたいのかを考えていくことができるようにする。	対話を通じて、互いの考えを共感的に受け止めたり、自分の経験を基に感想を伝え合ったりしながら、他者の考えを理解し、受容する心をもつことができるようにする。	自分や仲間が生きる上で大切にしていきたい考え方や、これまでに得た知識や経験の価値に気づき、将来、自分を世の中でどう生かしていきたいかを考えようとする態度を養う。

活動の計画	○単元の出口を見直し課題を共有する。 ○自己見つめ(2)	○これまでの学習を基に、「自分の生き方」について整理し、発表用資料を作成する。(4)	○中間交流会Ⅰを通して、仲間から発表資料についての助言を得る。(1)	○仲間からの助言を基に、発表資料を整理・分析する。(2)	○中間交流会Ⅱを通して、互いの生き方における考えを学び合う。(1)	○仲間の助言を基に、発表内容を整理・分析する。(1)	○8年生に向かって、「自分の生き方」について発表する。(1)
加筆修正欄							
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の出口の姿が理解できる。</li> <li>自分の特性について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料を整理し、どの視点で発表資料を作成するかを考える。</li> <li>制作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修正点分かる。</li> <li>他者の発表から、自分に足りなかった視点を見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間からの助言等を基に、発表資料を加筆、修正する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間の考え方を受け止め、自己の生き方と比較しながら聞いたり話したりできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間からの助言等を基に、発表内容、資料を再構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8年生に「自分の生き方」について、堂々と発表する。</li> </ul>
実際の姿							
エラー・ジレンマ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●自己を見つめる活動を通して、自分の理想とする生き方と、今の自分の特性の違いに悩む。</p> </div>						

## (1) 目標

自分の生き方について語り合う活動を通して、これまでの知識や経験を基に、今後、世の中で自分をどう生かしていきたいのかを語ったり、仲間の考えに対して、建設的な意見を述べたりしようとする。 (貢献する人間性)

## (2) 道徳的価値判断に関わって

互いの生き方に対する考え方を知り、それぞれの個性を認め合いながら、自分のよさ(個性)をどう生かしていきたいのかを深く考える。 本時(10/12)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される生徒の発言)	教師の手立てと見届け
<p><b>1 これまでの学習を振り返る</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 7年生では、「働く」をテーマに、いろんな業種の方々から話を聞いて、その意義について学んだな。</li><li>・ 広島では、戦後の動乱期を乗り越えてきた方々から、「生きる」ということに対する思いを聞いたり、私たちの考え方について、意見やアドバイスをもらったりしたな。</li></ul> <p><b>2 それぞれの生き方についての発表と交流</b></p> <p>これまでの学びや経験を基に、①今後、世の中で自分をどう生かして生きていきたいのか語ったり、②仲間の考えに対して、自分の意見を伝えたりしよう。</p> <p><b>【(例) 発表者 A】</b></p> <p>私は将来、人との関わりを大切に生きていきたいと思っています。私の中では、生きるためには「収入」が大切だと思っていました。お金があってこそ自分のしたいことができると考えたためです。しかし、薬科大学の山口先生は、生活していける分のお金があれば、収入にこだわらなくていい、それも納得しました。山口先生は、社会の中での自分の価値は自分の発信力と認知度だと言ってみえました。私は、それを高めるためにも、「人との関わり」は大切だと思います。それが幸せな生き方につながるかは分からないけれど、今後も色々な人と関わる機会をもちながら、発信力を鍛え、自分の生き方についてもっと考えていきたいと思っています。</p> <p><b>【(例) 発表者 B】</b></p> <p>僕は、いろいろな人と話をしたけれど、やはり生きていくには「個性」を大切にしたいと考えている。「貢献」や「協力」という考え方(価値観)は、自分の中ではそんなに重要ではなかったが、学校の修行動で仲間が自分の仕事を手伝ってくれたことを通して少しずつ自分の考え方に変化があった。貢献という面では、広島で被爆援護会の方々との話が、僕の考えをもっと変えた。品川さんたちは、自分たちの経験を後世の僕たちに伝えたいと思って、収入とかは関係なく活動している。世の中のためと思って、高齢なのに、一生懸命僕たちのために働いていた。自分を世の中でどう生かしていくか、ということが大切だと感じた。だから僕も…というように生きていきたい。</p> <p><b>【聞き手】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 僕も人との関わりは大切だと思います。でも、時々否定されるんじゃないかって怖くなる時があります。しかし、Aさんの話を聞いて、僕も逃げてばかりではダメだな、と感じました。</li><li>・ 普段からBさんはクラスのために声をかけて、とても貢献していると思います。私も、自分を大切にしながら、世の中のために、自分がどう生かせるか、考えていけたらいいな、と思いました。</li></ul> <p><b>3 まとめ(記述)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 私「個性」を大切にしながら生きていきたいと思っていたけれど、Bさんの話に、「貢献とは、個性を行動に出せる手段である」という言葉があり、Bさんの経験や広島での対談も聞きながら、すごく納得しました。私も自分の「個性」を生かした先に世の中へ何か貢献ができればいい、と感じました。</li></ul>	<p>(前時に本時の課題や交流の視点は共有した上で始める)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 7. 8年生で学習してきた内容や、広島での対談の様子を録画したものを提示することで、学んできた内容を想起し、自己のこれからの生き方とつなげながら課題化する。</li><li>○ 4人1グループで活動する。グループは、発表内容によって担任が意図的に編成する。</li><li>○ 前時までに生徒と共有した交流時の視点を確認できるように、TVに投影できるよう準備する。</li></ul> <p><b>【発表者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 相手の目を見て、資料を使いながら、自分の伝えたいことを知識や経験を基に、具体的に語ろう。</li></ul> <p><b>【聞き手】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 発表について、自分の考え方と比較しながら聞き、自分の知識や経験を基に、感想述べたり質問したりしよう。</li></ul> <p><b>目標に迫った姿をどのように見届けるか</b></p> <p>自分の知識や経験を根拠に自分の生き方について発表したり、相手の生き方に対して感想を伝えたり質問したりしようとしている。</p> <p>(貢献する人間性)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 発表者に対して、(例)「あなたにとっての個性とは何か。」「具体的に自分を生かせる場を想像してみよう。」聞き手に対して、(例)「その感想の根拠となる経験は何か。」等、対話活動をより深めていく発問をする。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 仲間の発表内容から、自分が改めて感じたことや学んだことを基に、自分が今後、自分をどう生かしていきたいのか、ということをもとめるよう助言する。</li></ul>